

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約書に付随するデータベースソフトウェア本体、およびそのアップグレード版、修正版、追加版（以下、これらを「本ソフトウェア」とします）は、このソフトウェア使用許諾契約（以下、「本契約」とします）の条項に基づいて提供されます。

お客様（以下、「乙」とします）は、本ソフトウェアをインストールまたは使用することで、本契約の条項に同意したものとみなします。本契約の条項に同意されない場合は、本ソフトウェアのいかなる部分もインストールまたは使用できません。

第1条 著作権等

1. 本契約により福田 昌志（以下、「甲」とします）が乙に提供する本ソフトウェアは、日本国内外の著作権およびその他知的財産権に関する諸法令および諸条約によって保護されており、本ソフトウェアの著作権およびその他の知的所有権は、「甲」が保有します。したがって、本契約の内容は、「乙」が本契約条件に従う場合に限り「甲」が「乙」に本ソフトウェアの使用を許諾するというものであって、販売するものではなく、「甲」が「乙」に明示的・黙示的に許与した権利のすべては「甲」に帰属します。
2. 「乙」は、本ソフトウェアを記録している媒体の所有権を有しますが、本ソフトウェア自体の所有権は「甲」が有します。また、本契約により「甲」が「乙」に許与する権利は、本ソフトウェアにおける「甲」の知的財産権に限定され、いかなるその他の特許権または知的財産権も含みません。

第2条 使用許諾の範囲

1. 「乙」は本ソフトウェアを、「乙」が保有する1台のコンピューター上に限り使用することができます。
2. 本契約により、「乙」は本ソフトウェアまたはその一部をダウンロードまたはインストールすることでこれを非独占的に使用することができます。
3. 本ソフトウェアは、日本国内でのみ使用を許諾するものとします。
4. 本ソフトウェアの体験版については、「乙」は、試用目的に限り使用することができ、使用制限が設けてある場合には、当該制限の範囲内でのみ使用することができます。なお、本ソフトウェアの体験版にも本契約における本ソフトウェアに関する各条項が適用されます。
5. 甲は、「乙」の同意を得なくても、本ソフトウェアに対する「乙」へのサポートに関する内容、期間、価格を任意に規定し、変更できます。
6. 「乙」は「カスタム版」のみテーブル、フィールド、リレーションシップ、値一覧、スクリプト（一部を除く）、レイアウトの追加、編集をすることができます。

第3条 禁止事項

1. 「乙」は、「甲」の書面による事前の同意を得なければ、本ソフトウェア及びその複製物の全部又は一部を、有償、無償を問わず第三者に販売、頒布、貸与、再使用許諾等できないものとし、かつ、担保権を設定することはできないものとします。
2. 本ソフトウェアに必要となるライセンスキーなどの本ソフトウェアライセンスに関する情報の複製物を、第三者に販売、頒布、貸与、再使用許諾等できません。
3. 「乙」は、本ソフトウェアを改編することはできません。
4. 「乙」は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、又は逆アセンブルすることはできません。
5. 「乙」は、「カスタム版」を使用の場合、以下の箇所をカスタマイズする事は出来ません。
 - ・カスタム関数の管理
 - ・カスタムメニューの管理
 - ・テーマの管理
 - ・ファイルオプション
 - ・アカウントの追加と編集
 - ・アクセス権の追加と編集
 - ・ファイルアクセスの認証

第4条 フィードバック

1. 「乙」から「甲」に対して寄せられる本ソフトウェアに関する提案・感想等の意見およびその他の情報（以下、「フィードバック」とします）に基づく権利は、すべて「甲」に帰属するものとし、「乙」のフィードバックにより生じるすべての権利（著作権法第27条および第28条に規定される権利を含む）は、当該フィードバックにより「甲」に譲渡されたものとみなします。なお、ここでいうフィードバックには、バグの発生・修正等バグに関する情報や問題点の説明・回避策も含むものとします。
2. 本契約の締結により、「乙」は、「甲」に対して、前項により甲に譲渡した権利についての著作者人格権を一切行使しないことを承諾したものとみなします。

第5条 保証の限定

1. 本ソフトウェアは、「現状のまま」で提供されるものです。したがって、「甲」は、本ソフトウェアに関するすべての明示・黙示または法令上の保証および条件を明確に否認するものとし、これには商品性、特定の目的についての適合性、第三者の権利を侵害していないこと等を保証しないことも含まれます。
2. 「甲」は、「乙」が本ソフトウェアを使用することで得られる内容の誤りや欠如に関して、「乙」や第三者に対して、直接的にも間接的にも責任を負いません。

第6条 権利義務の譲渡

1. 「甲」は、事前に「乙」から承諾を得なくても、本契約による権利または義務の全部または一部を第三者に譲渡または移転することができます。ただし、その場合は、当該譲受人・相続人・承継者は本契約の内容に拘束されるものとします。

第7条 責任の制限

1. 本ソフトウェアの使用、または使用不能によって発生する損害に対する責任は、それが直接的であるか間接的であるか、必然的であるか偶発的であるかに関わらず、負わないものとします。それは、その損害の可能性について、著作者が事前に知らされていた場合でも同様です。また「甲」は、「乙」が本ソフトウェアを使用するにあたり発生した直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他の無体財産に対する損害、使用利益および得べかりし利益の喪失等については、一切責任を負わないものとします。
2. 本ソフトウェアにかかるコンプライアンス（法令遵守）は「乙」の責任とし、「甲」は一切の責任を負わないものとします。

第8条 アフターサービス

1. 本ソフトウェアのご購入日から30日間、本ソフトウェアの使用方法に関してメールにてサポートいたします。
2. 本ソフトウェアは事前の通知なくその仕様について変更することがあります。

第9条 本契約の終了

1. 「乙」が、本契約の各条項のいずれかに違反した場合には、本契約に基づく「乙」の本ソフトウェアを使用する権利は、「甲」の通知を待たずに、自動的に終了するものとします。ただし、本ソフトウェアの使用を許諾する条項以外の本契約のすべての条項は、本契約終了後も有効に存続するものとします。
2. 本契約が終了した場合、「乙」は、本ソフトウェアの使用をすべて中止し、本ソフトウェアの原本および複製物をすべて破棄しなければならない、「甲」に対して本契約代金の返還を請求することはできません。

第10条 契約分離性

1. 何らかの理由により、管轄権を有する裁判所が本契約のいずれかの条項またはその一部について効力を失わせた場合であっても、本契約の他の条項または部分は、依然として完全な効力を有するものとします。

第11条 準拠法及び合意管轄

1. 本使用許諾書は、日本国法に準拠して解釈されるものとし、本使用許諾書に関する訴訟の第一審の専属的合意管轄裁判所は、神戸地方裁判所とします。

第12条 協議

1. 本契約に定めない事項、または本契約の条項の解釈に疑義が生じた事項については、「甲」と「乙」とは誠意をもって協議のうえ、円満にその解決を図るものとします。